

PIAA MOTOR SPORTS REPORT

2016 JRC/2016年 全日本ラリー選手権 (第1戦:唐津、第2戦:久万高原)

奴田原文雄選手、鎌田卓麻選手が最高峰のJN6クラスで躍進

JN4クラスでもPIAAユーザーが開幕2連勝を達成!

—JN4クラスのトヨタ86用ホイールも登場! JN5クラスでは話題のMINIをバックアップ—



■概要/Outline

国内外のレースシーンで活躍するPIAAはラリー競技においても名門として定着。WRC(世界ラリー選手権)で数多くのワークスチームをサポートするほか、国内最高峰シリーズのJRC(全日本ラリー選手権)においても1982年に横浜ゴムとADVAN-PIAA Rally Teamを結成して以来、アドバンのワークスドライバーとともに数々のタイトルを獲得している。

その勢いは今もなお健在で2016年のJRCでも各クラスでPIAAユーザーが活躍中だ。まず最高峰のJN6クラスに目を向けるとSyms Racing with TEINでVAB型のスバルWRXを駆る鎌田卓麻選手・市野 諒選手組が開幕戦の「ツール・ド・九州」で2位入賞を果たすほか、第2戦の「久万高原ラリー」ではADVAN-PIAA Rally Teamで三菱ランサーエボリューションXを駆る奴田原文雄選手・佐藤忠宜選手組が2位入賞を果たした。



ADVAN-PIAA ランサー



SYMS TEIN DL WRX STI

さらにJN4クラスに目を向けるとARTAオートボックス・ラリーチームでトヨタ86を駆る石川昌平選手・石川恭啓選手組が開幕戦を制するほか、トヨタ86を駆る山口清司選手・島津雅彦選手組が第2戦を制するな

と PIAA ユーザーが開幕 2 連勝を達成。さらに TEAM RALLYTECH WORKS でトヨタ 86 を駆る折登文洋選手・中里守利選手組も PIAA ホイールを装着したトヨタ 86 を武器に 2 戦連続で 5 位入賞を果たすなど安定性が高い。



ARTA オートパックス 86



Jms ADVAN エナペタル久興 86



YH・リジッド・ラリーテックワークス 86～第 2 戦 久万高原では PIAA 製 16 インチホイールを装着

一方、JN5 クラスに目を向けると MINI JCW RALLY TEAM で MINI ジョンクーパーワークスを駆る大橋逸夫選手・藤上 亘選手組も PIAA ユーザーのひとりで、開幕戦で 5 位、第 2 戦で 3 位に入賞するなど着実な進化が伺える。

そのほか、JN1 クラスではサンク・レーシングで日産マーチを駆る小泉茂選手・小泉由起選手組も 2 戦連続で 4 位に入賞。このように 2016 年の JRC においても各クラスで PIAA ユーザーが躍進しており、今後も各クラスで上位争いを展開することだろう。



MINI ジョンクーパーワークス



ブレイドライブ YH マーチ NISMO S

■レポート/Report

2016年の全日本ラリー選手権が4月9日～10日、佐賀県唐津市の林道を舞台にしたターマックイベント、ツール・ド・九州で開幕。同イベントで最も注目を集めたのが、ADVAN-PIAA Rally Teamの奴田原文雄選手だと言えるだろう。

奴田原選手はこれまでに9度に渡って最高峰クラスでチャンピオンに輝く、最多タイトル記録を持つJRCのトップドライバーで、2016年もPIAAのライティングシステムおよびシリコンゴムワイパーを装着した三菱ランサーエボリューションXでJN6クラスにエントリー。残念ながら開幕戦は4位に終わったが、4月30日～5月1日にかけて愛媛県久万高原町の林道を舞台に開催された第2戦のターマックイベント、久万高原ラリーでは素晴らしい走りを披露している。

ラリーウィークは真夏のようなコンディションになったことから、数多くのドライバーが脱落するサバイバルラリーが展開。そのなかで奴田原選手はコンスタントな走りを披露し、2位入賞で今季初の表彰台を獲得した。惜しくも勝利こそ逃したが、未だそのパフォーマンスは高く、第3戦以降は奴田原選手が得意とするイベントが続くだけに、2016年のJRCでも奴田原選手がタイトル争いの鍵を握ることだろう。



また、奴田原選手とともにJN6クラスで注目を集めているのが、Syms Racing with TEINよりJN6クラスに参戦している鎌田卓麻選手だ。鎌田選手は1990年代後半から海外ラリーで活躍してきたドライバーで、2005年～2008年にはPWRC（プロダクションカー世界ラリー選手権）で活躍。2013年にはスバルBRZでJRCに復帰しており、2014年にはJN5クラスでチャンピオンを獲得するほか、2015年からはVAB型のスバルWRXでJN6クラスに参戦している。

昨年はマシンのセッティングに苦戦を強いられていたようだが、2016年はマシンが熟成したようで開幕戦で2位入賞を果たしたことは記憶に新しい。残念ながら第2戦はコースアウトでリタイヤを喫したが、得意のグラベルイベントでは抜群のスピードを持つだけに、鎌田選手もトップ争いを左右するに違いない。



一方、レギュレーションの変更で実質的にトヨタ 86 およびスバル BRZ のワンメイククラスとなった JN4 クラスでも PIAA ユーザーの活躍が目覚ましい。ARTA オートボックス・ラリーチームでトヨタ 86 を駆る石川昌平選手が開幕戦で今季初優勝を獲得。残念ながら第 2 戦はクラストップを快走中にコースアウトで戦線を離脱するものの、同じくトヨタ 86 を駆る山口清司選手が最終 SS で逆転し今季初優勝を獲得するなど PIAA ユーザーのリレーで開幕 2 連勝を達成している。



そのほか、TEAM RALLYTECH WORKS の折登文洋選手も PIAA ユーザーのひとりで、スパー耐久や 86 & BRZ レースでも実績がある PIAA 製ホイールを装着したトヨタ 86 で躍進。サバイバルラリーが展開されるなか、安定した走りを披露、第 1 戦、第 2 戦ともに 5 位入賞を果たしたことは賞賛に値する。



また今季より 2WD マシンだけで争われることとなった JN5 クラスに目を向けると、昨年まで 4WD の MINI JCW クロスオーバーで参戦していた MINI JCW RALLY TEAM の大橋逸夫選手が FF モデルの MINI ジョンクーパーワークスでエントリー。2016 年に合わせて新たに開発したマシンとなるだけに、未だ熟成不足は否めないが、開幕戦で 5 位入賞を果たすほか、第 2 戦では 3 位で表彰台を獲得した。尻上がりに調子を上げているだけに、今後も大橋選手×MINI が上位進出を果たすことだろう。

さらに JN1 クラスにおいてはサンク・レーシングで日産マーチを駆る小泉茂選手も PIAA ユーザーのひとりで、開幕 2 連戦で 4 位に入賞している。抜群の安定感を持つだけに、より過酷な展開になれば上位進出の機会が増えてくるはずだ。

このようにラリー競技の名門サプライヤーとして定着する PIAA は 2016 年の JRC においても活躍。ライティングシステムはもちろんのこと、撥水シリコンゴムワイパー、ホイールなど自社製アイテムのパフォーマンスを証明するように、今後も各クラスで PIAA ユーザーがトップ争いを展開することだろう。



■ユーザーの声/User's Voice

奴田原文雄選手/Fumio Nutahara

ADVAN-PIAA Rally Team

マシン：三菱ランサーエボリューションX

「第2戦からメインのヘッドランプをハロゲンバルブからPIAAのLEDヘッドライトバルブに変更したんですけど、やっぱり明るいんですね。それにHIDと違って灯りが白過ぎないので眩しくないし、目も疲れにくい。ナイトステージはライトポッドを装着するので、リエゾンならこのLEDのヘッドライトバルブだけでも十分だと思いますよ。」



LOW ビーム側にLEDバルブ装着

鎌田卓麻選手/Takuma Kamada

Syms Racing with TEIN

マシン：スバルWRX STI (VAB)

「ラリーは雨の日はもちろん、晴れていても常に埃や泥をかぶっているので日頃からワイパーを使う機会が多いんですね。そういった意味ではPIAAの撥水機能付きのシリコンゴムワイパーは最適で、泥がフロントスクリーンについても1回で拭き取ってくれるのでドライビングに集中しやすい。吹きこぼしがほとんどないので、天候を問わずラリー競技では必需品になっています。」



撥水ワイパーを装着

折登文洋選手／Fumihito Orito

TEAM RALLYTECH WORKS

マシン：トヨタ 86

「タイヤの関係で開幕戦は鍛造製の17インチ、第2戦はフローフォーミング製の16インチを装着したんですけど、どちらも競技用ホイールとしてはバッチリです。かなり強い入力があったんですけど、どちらも曲がったり、歪んだりすることはありませんでした。頑丈だし、塗装もしっかりしているので気を使わずに使用可能です。ラリー競技に合っていると思いますよ。」



16インチ：フローフォーミング製法



17インチ：鍛造製法



撥水ワiper（エアウォーク）



軽量ホイール モリス E 12S（16インチ）

SWEEPER をつとめた MINI JCW クロスオーバー

（2015年 全日本ラリーJN5クラスで参戦したマシン。

今年は SWEEPER やレンタルラリーカーとして数戦のオープンクラスに参戦予定。）

